

## < I T パスポート試験 講評 >

今回の試験は新制度での2回目の試験となりましたが、3分野の出題割合はストラテジ系28問（および中間形式に含まれるシステム戦略に関する問題）、マネジメント系25問、テクノロジー系40問と、春試験と同様の割合でした。しかし、各分野での大分類からの出題数については、「経営戦略」からの出題が増える一方、「企業と法務」からの出題が減少するなど、分類ごとに増減がみられました。今後も多少の変動があるものと思われるので、動向には注意が必要です。

全般的には定番問題が減少傾向にあり、その分新傾向問題が増えています。ストラテジ系ではファブレスの説明を問うもの、マネジメント系では情報システムのファシリティマネジメントの対象範囲を問うもの、テクノロジー系ではポート番号の説明を問うものなどが、新傾向問題での出題と言えるでしょう。新制度移行の初期段階でもあるため、定番問題の減少と新傾向問題の増加という全体の傾向は今後も続くものと思われます。出題範囲が広い試験ですので特定の分野に偏らないよう、また、新しい情報を積極的に収集しながら準備を進めることが望まれます。

今回の試験は、春に比べて試験範囲をまんべんなく網羅していることから、難しい印象を受けた受験生も多かったのではないのでしょうか。問題によっては基本情報レベルの問題も見受けられましたので、範囲・質の両面で難易度が上がっているものと考えています。

### 《出題分析》

大分類ごとの出題数は下記の通りです。基本情報、初級シスアドでよく出題されている問題を、定番問題としてカウントしました。

#### ストラテジ系 全 35 問

企業と法務	13 問	(定番問題 2 問)
経営戦略	15 問	(定番問題 3 問)
システム戦略	7 問	(定番問題 0 問)

#### マネジメント系 全 25 問

開発技術	8 問	(定番問題 0 問)
プロジェクトマネジメント	9 問	(定番問題 0 問)
サービスマネジメント	8 問	(定番問題 1 問)

#### テクノロジー系 全 40 問

基礎理論	7 問	(定番問題 1 問)
コンピュータシステム	11 問	(定番問題 8 問)
技術要素	22 問	(定番問題 14 問)

以 上